

現場仕様で噴霧試験

性能を明示、安心して利用可能に

ケーワンシステム

北海道を中心に二重床の供給・施工を行い、万協フロアーの特約店でもあるケーワンシステム（札幌市、原田慶一社長）は、6月に北海道立総合研究機構の工業試験場で、デッキシステムであるK1デッキ文教タイプについて噴霧試験を行い、必要な性能を確認したことを明らかにした。

K1デッキ文教タイプは、万協フロアーの支持脚、ZAM鋼製床下地と人工木、天然木で形成するウッドデッキに、体育館床に求められる適度な硬さと柔らかさを取り入れたもの。安全性を考慮し、転倒時のけがを減らすため緩衝効果値を考慮

態の変化などを確認する。同デッキは地上だけでなく屋上などにも使われ、寒冷地でも同様の状態で設置される。設置される条件が違っても性能が担保できるかがこの試験の目的ともなっている。この試験は、天然木デッキ、人工木デッキの設置試験体で5000時間、21日間行った。試験の結果、人工木仕様が目視確認で白錆

生が認められ、また天然木仕様では、天然木でタンニンによる黒変色があった以外、人工木仕様と同様に白錆及びわず



塩水噴霧試験における天然木デッキ、人工木デッキの仮設置状態

生が認められ、また天然木仕様では、天然木でタンニンによる黒変色があった以外、人工木仕様と同様に白錆及びわず

な赤錆の発生が認められた程度にとどまった。原田社長は、「この試験は現場と同じような条件で行っており、長期的に利用した場合の状況を明らかにすることができた。K1デッキ文教タイプは、ピルの屋上など様々な場所で行われている。今回の試験により同タイプの性能をPRしたい。より多くの現場で利用していただく

「と語る。K1デッキ文教タイプは、耐荷重性能試験や転倒衝突時の硬さ試験などを行っており、使用時の安全性なども示している。また車両乗り入れを可能にした「文教PIayタイプストロング仕様」も開発されている。デッキ材の利用が広がるなか、同社は今後も性能を証明し、安心して利用していただく

ようにしていく方針だ。